

# 肥料の生産・輸入・販売に係る ルールが変わります。

土づくりに役立つ堆肥や産業副産物の活用とともに、  
農業者のニーズに応じた柔軟な肥料生産が進むよう、  
**肥料取締法の一部を改正する法律が公布**  
されました。

## 見直しのポイント

土づくりや労力・コストの低減につながる  
**肥料の配合に関するルールを見直します。**

P1

原料や材料等の表示を簡素化するため、  
**保証票の表示ルールを見直します。**

P2

安全性は堅持しつつ、使用可能な原料の自由度  
を拡大するため、**公定規格を見直します。**

P3

産業副産物の肥料を、農家がより安心して利用  
できるよう、**原料管理制度を導入します。**

P4

成分量や原料以外にも**品質や機能などの**  
**表示基準**を設けます。

P5

詳細はHPへ。  
ご不明な点は、  
お気軽にお問い合わせ  
合わせください。



<農林水産省Webページ> 詳しくはこちらをご覧ください。

[https://www.maff.go.jp/j/syouan/nouan/kome/k\\_hiryo/index.html](https://www.maff.go.jp/j/syouan/nouan/kome/k_hiryo/index.html)



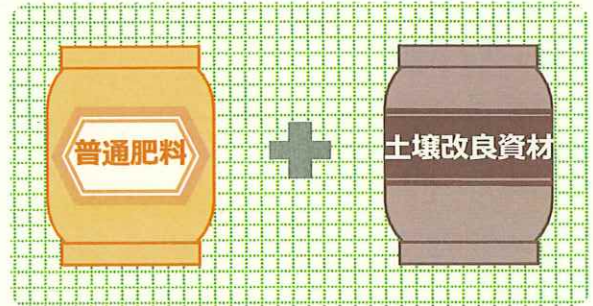
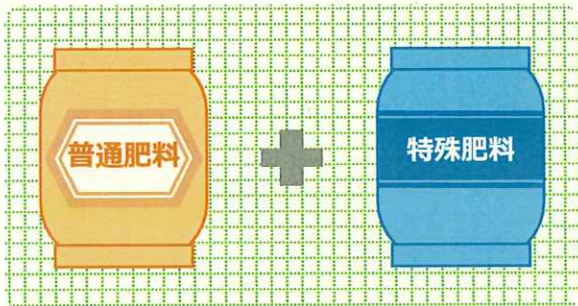
# 配合に関するルールを見直します。

新たに  
できること



- **堆肥と化学肥料を配合した肥料が届出**で生産可能に！
- **造粒等を行った化成肥料も届出**で生産可能に！  
(登録済み肥料のみを原料としている場合に限りです。)
- 生産の **1週間前まで**の届出で生産可能に！  
(従来は、2週間前までの届出が必要)

## 新たに可能となる配合の例



- ※ 一部の原料や組合せは対象外です。詳細は省令等で定めます。
- ※ 配合可能な土壌改良資材は省令等で定めます。
- ※ 特殊肥料同士を配合した肥料も、今後特殊肥料として生産できるようにする方向で検討中です。

## 想定されるメリット

**1** **土づくりと施肥が一度の作業で可能に。**  
ペレット化すれば、通常の散布機で散布可能に

※ 畜産農家が堆肥等をペレット化する支援事業もあります。詳細はこちら (P30)



土づくり



施肥

別々の作業を  
1度に！

**2** 堆肥の成分の**不足を化学肥料で補う**  
ことで、**堆肥が使いやすく**



堆肥



化学肥料

成分が安定  
した堆肥に！

# 保証票の表示ルールを見直します。

新たに  
できること

- 原料や材料の表示を簡素化します！
- ウェブ表示で原料等の一部表示を省略できます！
- 保証票の大きさの基準をフォントサイズに変更します！



※施行日前までに登録・届出を行った肥料については、当分の間、従前のルールに基づく表示が可能です。

## 原料や材料の表示の簡素化

- 保証票の原料のうち、最低上位5番目又は8割までの原料を記載し、それ以下は「その他」として、原料を〔 〕内に記載し、〔 〕内の原料の順位は重量順でなくても可能に  
(例：硫酸アンモニア、塩化加里、・・・、その他〔尿素、硫酸加里〕)
- 入れ替わる旨を記載することにより、隣接する2つの原料の順位の入替えが可能に
- 有機質肥料の「統合表示名称」について、「魚粉類」を「動物かす粉末類」に統合し、「植物油かす類」と「植物かす粉末類」とを「植物質類」に統合
- 一部の材料の表示について、表示の有無の選択が可能に

保証票
登録番号
肥料の種類
肥料の名称
保証成分量(%)
原料の種類
材料の種類、名称及び使用量
正味重量
生産した年月
生産者の氏名又は名称及び住所
生産した事業場の名称及び所在地

## ウェブ表示で原料等の一部表示を省略

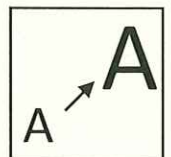
- 原料中の「指定配合肥料」や「その他」の〔 〕内の表示をウェブ表示により省略が可能に
- 肥料の生産事業場の名称及び所在地をウェブ表示で可能に



二次元コードの添付

## 保証票の大きさを変更

- 保証票の大きさの基準を、フォントサイズ8ポイント以上に変更



# 公定規格を見直します。

新たに  
できること  
対応いただくこと

※公定規格の見直しの詳細は、令和2年度末までにお示しする予定です。

- 細分化した**規格を統合・簡素化**します！
- **微量元素を表示しやすく**します！
- **産業副産物を肥料に利用しやすく**します！



## 公定規格の見直し

- 副産系の肥料、液状の肥料、汚泥肥料等を**大きくり化**
- 様々な**微量元素等**の組合せやその**表示ができるよう規格を緩和**
- 有害成分規格は堅持しつつ、原料規格の設定と成分量の規格の引下げにより、**産業副産物を肥料に有効利用しやすく**なるよう規格を見直し

## 想定されるメリット

### 1 利用拡大が期待される肥料原料の例

- 畜産業 → 豚ふんの燃焼灰
- 発電プラント → 木質系燃焼灰
- 食品製造業 → 食品系汚泥発酵肥料 など

### 2 微量元素の表示が可能に

有機質肥料等に含まれる**微量元素の表示が可能**となることにより野菜や果樹の微量元素欠乏症の改善が期待



# 原料管理制度を導入します。

新たに  
対応いただくこと

※検討中のため、内容は変更する可能性があります。

- 副産系肥料に使える**原料の規格を設定**します！
- **原料帳簿を備え付け**る必要があります！
- **原料の虚偽宣伝も禁止**になります！



## 原料規格を設定

- 副産系の肥料など、これまで個別に使用できる原料を審査し、判断していたが、新たに原料の規格を設定  
これにより、**使用できる原料を明確化**  
(副産〇〇肥料、汚泥肥料など)
- 発生工程も含めて原料の規格を設定  
(「調味料製造時におけるアミノ酸発酵反応から生じた発酵残液」など)



※対象となる肥料の範囲や原料の詳細は今後、省令等で定めます。

## 原料帳簿の備付け

- 生産業者及び輸入業者は、事業場ごとに肥料に使用した**原料の名称、数量、仕入先等**を帳簿に記録し、備え付け、2年間保存
  - 対象は、産業副産物など**原料規格が設定される肥料**と保証票に**原料、材料又は異物の表示を行う肥料**になります。
  - 記載事項と必要な情報が揃っていれば、帳簿の様式は問いません。  
(原料の仕入伝票なども可)



※対象となる肥料の範囲や記載項目の詳細は今後、省令等で定めます。

## 原料等の虚偽宣伝の禁止

- **チラシやパンフレット、Webサイト**を用いる場合も含め、肥料の**原料や生産の方法の虚偽の宣伝を禁止**
- **原料等**について**誤解を生じるおそれのある名称**の使用が**禁止**

# 成分濃度や原料以外の品質や機能などの表示基準を設けます。

- どのくらいゆっくり効くか（緩効性）に関する機能など、**必要に応じ、全国一律の表示基準を定めます。**

※新たな表示基準として定める内容は、今後検討します。



## ＜お問合せ窓口＞

＜ご不明な点は下記フォームまたは窓口にお問い合わせください＞

<https://www.contactus.maff.go.jp/j/form/syouan/nouan/200518.html>



機関	連絡先	管轄都道府県
農林水産省 北海道農政事務所消費・安全部 農産安全管理課	TEL 011-330-8815 FAX 011-520-3056	北海道
農林水産省 東北農政局消費・安全部 農産安全管理課	TEL 022-221-6097 FAX 022-217-8432	青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島
農林水産省 関東農政局消費・安全部 農産安全管理課	TEL 048-740-5229 FAX 048-601-0548	茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨、長野、静岡
農林水産省 北陸農政局消費・安全部 農産安全管理課	TEL 076-232-4006 FAX 076-232-4007	新潟、富山、石川、福井
農林水産省 東海農政局消費・安全部 農産安全管理課	TEL 052-746-1315 FAX 052-220-1362	岐阜、愛知、三重
農林水産省 近畿農政局消費・安全部 農産安全管理課	TEL 075-414-9035 FAX 075-417-2149	滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山
農林水産省 中国四国農政局消費・安全部 農産安全管理課	TEL 086-223-7673 FAX 086-224-7714	鳥取、島根、岡山、広島、山口、徳島、香川、愛媛、高知
農林水産省 九州農政局消費・安全部 農産安全管理課	TEL 096-300-6130 FAX 096-211-9700	福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島
内閣府沖縄総合事務局 農林水産部 消費・安全課	TEL 098-866-1672 FAX 098-860-1195	沖縄
農林水産省 消費・安全局 農産安全管理課	TEL 03-3502-5968 FAX 03-3580-8592	